



かなうさ!



6月号



誠意がつなぐ人との「縁」

校長 升 田 重 樹

新年度がスタートしてから3か月が経とうとしています。5月にはインターハイ支部予選が開催され、陸上競技部とソフトテニス部の部員と水泳で全道大会の出場権を獲得しました。高体連に限らず3年次生にとっては最後の出場や取組となるものが多くなっていくでしょう。7月に開催される学校祭もそのひとつです。何事も可能なかぎりベストを尽くし、自らの人生のページに刻めるものをひとつでも多く残してほしいとかがえています。

人生と言えば、生徒たちにとっては高校入学から進路決定、卒業、そして就職、進学と、これから様々な人生の節目があります。そして、それぞれの場面において出会いや別れがあります。私自身の人生で申し訳ございませんが、今年で教員生活34年になりました。私が教員としてスタートした学校は旭川市にある専門学科の高校でした。ここで当時26歳、初めてクラス担任を持ち、3年間同じクラスでなんとか卒業生を送り出すことができました。4年前、校長として旭川市近隣にある高校に赴任した際、その当時の教え子たちが集まってクラス会を開いてくれました。卒業後初めて再会した教え子も多く、懐かしさを通り越して感激の一言でした。卒業後25年は経っていたので、皆年齢は40代中盤になっています。それぞれが社会人として責任のある職業につき、ほとんどが子の親になっています。中にはお孫さんのいる教え子もいました。当時20代の私は教師としてとても未熟(はっきり言ってダメ教師)であり、クラス経営と言っても失敗の連続でした。今考えると生徒たちにもっとこんなことがしてあげられたなという反省ばかりです。そんな話をすると、教え子たちはそれでも楽しい高校生活だったと言ってくれます。教師である私自身が生徒たちに助けられ、育てられ今日まで来ることができたのだとしみじみと思いました。お互いにそれなりの年齢になりましたが、顔を会わすと当時の青年教師と高校生に戻ることができます。教師になって良かったと思う瞬間はこんな時なのだと深く感じました。

以前、仕事でとてもお世話になった大学教授の先生が新聞のコラムで、教員と学生の関係についてこう書いていました。「講義やゼミナールのときだけの関係か、卒業後も未永く交友関係を続けていくか。それは学生一人一人が決めることです。私は「来る者拒まず、去る者追わず」の心境。卒業後はお互い社会人であるので、対等なお付き合いを心がけています。いつまでも恩師面して偉そうな態度を取る気はありません・ともあれ、律儀さや誠意を持ってつなぐ人との「縁」は大事ですね。」

私のように教員生活が残り少なくなってきた人間が思うには、生徒たち世代と私たち世代がイメージする夢や希望や目標は必ずしもイコールにならないということを忘れてはいけないということです。よく「今の若い奴はだめだ」という言葉を聞くことがありますが、それは「今の若い奴に比べて、おれたちはしっかりしてたよな」と、勝手に自分を肯定したいからではないのかと考えます(すべてではありませんが)。私は仕事で困ったことがあった時に、比較的若い先生に助けもらうことが多々あります。また、生徒たちの日頃の様子や取り組む姿を見て新たな発見や教わることもたくさんあります。それを考えると私たち教員も視野の広さや柔軟性、寛容な姿勢を身に付けることが大切ではないかと常日頃感じています。とはいえ、時には生徒たちに厳しい姿勢で接することももちろん必要です。厳しさの中にもやさしさあります。先の大学教授の先生のお言葉のとおり、誠意がつなぐ人との「縁」は本当に大事だということです。

卒業生が本校を訪れ、先生達と再会を楽しんでいる姿をたまに目にします。長い目で見ると、生徒たちから在学中に頼りにされるのは勿論ですが、卒業してから慕われることも教師力というものではないでしょうか。

★ お知らせ① ★ 第13回学校祭 7月7日(金)・8日(土)

7月7日(金)・8日(土) 本校の学校祭を実施します。

コロナウイルス発生以前の状態へ内容を戻すことを目標に、安全性やコロナ対策を念頭に審議を続け、PTA役員の皆様のご協力もいただき、2日間のプログラムが完成しました。学校行事は経験の積み重ねが重要です。その点において生徒達はいへん苦慮していますが、自分たちの学校祭づくりに向けて、クラス計画を立て、放課後などの限られた時間の中で、協力している様子がみられます。クラスのユニホームもできあがり、学校祭を通じて強い絆がで



1年次生系列模擬授業 農業・工業・商業・家庭 6月8日・15日・21日・22日

総合学科の特徴として、本校生徒は2年次より5つの系列から、最も興味関心の高い系列の科目を選択し学ぶことができます。「文理教養」系列は普通科目を主体としているのでイメージしやすいのですが、他の4つの系列は、学科としての色合いも強く初めて学ぶ内容が多いので、生徒が選択科目をしっかりと検討できるように、授業を体験的に学ぶ機会を設けました。

- ◆農業: パウンドケーキ作り
- ◇工業: 電気工事体験とパードコール
- ◆商業: コンテンツビジネスについて
- ◇家庭: デザインカード作り



校門前花壇整備 6月6日

本校では令和2年度より地域に向けて活気を送るべく、校門前に花壇を整備し、花を植えています。今年度も、6月6日(火)、ボランティア局の生徒12名が校門前の花壇整備と花植えを行いました。今年度は自分達で花選びから取り組み、花の配置も真剣に考えながら植え込んでいきました。

今後は当番制で、ボランティア局の生徒が定期的に水やりを行い、



部活動報告

本校には7つの運動系部活動と10の文化系部・局があり、それぞれの部下圧道で、生徒は積極的に活動しています。

高体連では、陸上競技部・ソフトテニス部・水泳(個人)が全道大会へ出場しました。

また、ソフトテニス国体南空知予選会では、飯田・渡邊ペアが優勝し、男子ペアとともに北見大会へ出場することが決まりました。



さわやか清掃 6月22日

地域への感謝をこめて、普段通学路として利用させていただいている美唄駅から学校までのコースを3つにわかれてゴミ拾いを実施しました。生徒約80名は、放課後一時間弱の時間でしたが、友人や教員と楽しく会話しつつ、天候にも恵まれ、周辺の道路を整備することができました。みなさんご苦労様でした。次回も自発的に協力してください。



3年次生進路実現に向けて

3年次生の総合的な探究の時間では進路希望別の取り組みが始まりました。前期の半年間、生徒は進路希望に合わせて大学・専門学校・就職の3つのグループに分かれて活動を行います。

最近の大学入試は、推薦入試枠も道下傾向にあることなどから、進学・就職を問わず面接練習が重要になっていきました。また大学・専門学校組は志望理由書作成、就職組は履歴書のフォーム作成を行いました。進路実現はもちろんのこと、その先の社会で生き抜く力を身に付けるために、進路学習に力を注いでいきましょう。



野球全校応援

6月27日(火)本校ではバス4台をチャーターし、滝川市営球場へ向かい。尚栄高校対岩見沢西高の試合で、全校応援を行いました。この応援を通し、学校全体が一つになりました。



★ お知らせ② ★ 『中学生一日体験入学』7月26日(水)

中学3年生にとって、そろそろ受験校を決める時期が迫ってきました。そこで尚栄高校では、中学生にとってなじみの薄い「総合学科」について知ってもらうために、7月26日に体験入学を実施します。尚栄高校の特色を知っていただくために高校生からの学校紹介や各系列の内容を知るための模擬授業を予定しています。また今年は保護者向けの説明会も企画しました。

各中学校で参加のとりまとめをお願いしておりますが、不明な点があればご遠慮なく尚栄高校へお問い合わせください。

詳細は本校HPをご参照ください。

